



CASBEE横浜2017年版v.1.1
 プラウド能見台

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質									2.7	
Q1 室内環境									3.1	
1 音環境									3.2	
1.1 騒音					3.0	0.15	3.3	1.00	3.2	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.0	0.50	-	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	5.0	0.30	-	
2 界壁遮音性能					3.0	-	3.0	0.30	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	-	
1.3 吸音					3.0	-	3.0	-	-	
2 温熱環境					3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御					3.0	0.50	3.0	0.50	-	
1 室温					快適・働きやすさ	3.0	0.63	3.0	0.63	-
2 外皮性能					快適・働きやすさ 健康・安心	3.0	0.38	3.0	0.38	-
3 ソーン別制御性					快適・働きやすさ	3.0	-	-	-	
2.2 湿度制御					快適・働きやすさ	3.0	0.20	3.0	0.20	-
2.3 空調方式					快適・働きやすさ	3.0	0.30	3.0	0.30	-
3 光・視環境					3.3	0.25	3.0	1.00	3.0	
3.1 昼光利用					4.2	0.30	3.0	0.30	-	
1 昼光率					快適・働きやすさ	5.0	0.60	3.0	0.50	
2 方位別開口					快適・働きやすさ	-	-	3.0	0.30	
3 昼光利用設備					快適・働きやすさ	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.30	-	
1 昼光制御					快適・働きやすさ	3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					快適・働きやすさ	3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御					快適・働きやすさ	3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気環境					3.2	0.25	3.3	1.00	3.3	
4.1 発生源対策					4.0	0.60	4.0	0.63	-	
1 化学汚染物質					快適・働きやすさ	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気					2.0	0.40	2.3	0.38	-	
1 換気量					快適・働きやすさ	3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					快適・働きやすさ	3.0	-	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					快適・働きやすさ	1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					快適・働きやすさ	3.0	-	-	-	
2 喫煙の制御					快適・働きやすさ	3.0	-	-	-	
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.8	
1 機能性					3.0	0.40	2.6	1.00	2.6	
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	3.0	0.60	-	
1 広さ・収納性					快適・働きやすさ	3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応					快適・働きやすさ	3.0	-	3.0	1.00	
3 バリアフリー計画					快適・働きやすさ	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.30	2.0	0.40	-	
1 広さ感・景観					快適・働きやすさ	3.0	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					快適・働きやすさ	3.0	-	-	-	
3 内装計画					快適・働きやすさ	3.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					快適・働きやすさ	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性					2.8	0.30	-	-	2.8	
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	-	
1 耐震性					防災	3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					防災	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					防災	3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					防災	3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔					防災	3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔					防災	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.0	0.20	-	-	-	
1 空調・換気設備					防災	1.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					防災	2.0	0.20	-	-	
3 電気設備					防災	1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					防災	3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					防災	3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性					3.0	0.30	3.1	1.00	3.0	
3.1 空間のゆとり					-	-	3.2	0.50	-	
1 階高のゆとり					3.0	-	4.0	0.60	-	
2 空間の形状・自由さ					3.0	-	2.0	0.40	-	
3.2 荷重のゆとり					3.0	-	3.0	0.50	-	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	-	



CASBEE横浜2017年版v.1.1

プラウド能見台

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.1

スコアシート		実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	
1 生物環境の保全と創出		地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-			1.0
2 まちなみ・景観への配慮		地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-			3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		地域・まちづくり	⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-			-
3.2 敷地内温熱環境の向上		快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-			-
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-			3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-			4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-			4.0
2 自然エネルギー利用		省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-			3.0
3 設備システムの高効率化		省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	5.0	0.50	-	-			5.0
4 効率的運用				3.5	0.20	-	-			3.5
		集合住宅以外の評価		-	-	-	-			-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	3.0	-	-	-			-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	3.0	-	-	-			-
		集合住宅の評価		3.5	1.00	-	-			-
	4.1	モニタリング	省エネルギー性能	4.0	0.50	-	-			-
	4.2	運用管理体制	省エネルギー性能	3.0	0.50	-	-			-
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-			2.9
1 水資源保護				3.0	0.20	-	-			3.0
1.1 節水				3.0	0.40	-	-			-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-			-
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-			-
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-			-
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-			3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-			-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-			-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-			-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-			-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				3.0	0.22	-	-			-
3 汚染物質含有材料の使用回避				2.5	0.20	-	-			2.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-			-
3.2 フロン・ハロンの回避				2.3	0.70	-	-			-
	1	消火剤		1.0	0.33	-	-			-
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-			-
	3	冷媒		3.0	0.33	-	-			-
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-			3.0
1 地球温暖化への配慮				3.7	0.33	-	-			3.7
2 地域環境への配慮				2.5	0.33	-	-			2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-			-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-			-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-			-
	1	雨水排水負荷低減		4.0	0.25	-	-			-
	2	污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-			-
	3	交通負荷抑制		4.0	0.25	-	-			-
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-			-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-			-
	1	騒音		3.0	1.00	-	-			-
	2	振動		-	-	-	-			-
	3	悪臭		-	-	-	-			-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-			-
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-			-
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-			-
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-			-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-			-
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-			-
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-			-
上記以外の重点項目										
<事務用途>										
知的生産性向上への取組		快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-			-
<住宅用途>										
健康と安心										
1 化学汚染物質の対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
2 適切な換気計画		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
3 結露・カビ対策		健康・安心	⑥健康対策	3.0	-	-	-			-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)		健康・安心	⑦防犯対策	3.0	-	-	-			-